



しばたけんいち
柴田賢一 議員

SHIBATA Kenichi

Q. 買替基準無視の黒色町長車は

A. 私の裁量で購入した

鈴木前町長が行った町長車の改革に対して、服部町長が方針転換した政治判断を問う。

Q 公用車の買替は、どのような手続きで行うのか。

総務部長

A 買替基準により必要性を判断し予算を要求する。その後、査定、裁定、議会承認後予算化、購入の手続きとなる。

Q 買替基準は明文化されたものか。また、車種選定はどのように行われているか。

総務部長

A 5年が経過した車両について、10万キロメートルを超える、または、故障の頻度の高いものなどの基準を、決裁による内部基準としている。
買替の車種選定は、原則として従来の車種とする。



▲問題の黒色町長車 (同型車)

Q 町長車が白色エスティマから黒色エスティマに変更されているが、それぞれの購入日は。また、黒色エスティマを購入時の白色エスティマの走行距離は。

A 町長
白色エスティマの購入日は平成23年8月29日、黒色エスティマの購入日は平成29年6月15日である。

黒色エスティマ購入時、平成29年6月末時点の白色エスティマの走行距離は3万5536キロメートルである。

Q 公用車の買替基準を満たしていないにも関わらず、町長車を新しく購入するという政治判断は、どのようになされたのか。

A 町長
青色エスティマハイブリッドの買替対象としてフリードが、出されていたと記憶している。

その際、私の裁量で白色エスティマハイブリッドをその代替えとして供用車に配備し、新たに黒色エスティマハイブリッドを町長車として購入したものである。

Q. 上小田井駅からの市バス延伸

A. 利便性向上に努める

新ごみ焼却施設の余熱を利用する温水プールや、県の構想である防災拠点への公共交通に対する町の意気込みを問う。

Q 最新式の焼却施設の一般見学や、現在計画中である温水プールへの町民の公共交通について検討をしているか。

A 建設部長
建設予定の温水プールについては数年後のオープンを目指し、現在、設計が進められている。プールの運用方法、利用者見込がこれから決まるが、公共交通については、それらを踏まえ検討していく。

Q 上小田井からの市バス延伸ルート構想について取り組む意欲はあるか。

A 建設部長
上小田井からの市バス延伸ルート構想は、大変示唆に富んでいるものと捉えている。公共交通は、町民が関心を寄せる本町の重要課題である。引き続き町全体のバス路線の拡充を目指し、公共交通の利便性向上に努めていく。



▲上小田井駅ロータリー

新規事業

3月定例会

質疑・討論

一般質問